



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 トーヨーカネツ株式会社  
 コード番号 6369 URL <https://www.toyokanetsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳川 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 米原 岳史 TEL 03-5857-3333  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,882	3.7	△101	—	67	—	205	161.1
2019年3月期第1四半期	7,603	△17.0	△417	—	△148	—	78	△88.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 286百万円 (170.5%) 2019年3月期第1四半期 105百万円 (△89.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.86	—
2019年3月期第1四半期	8.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	56,916	34,416	60.5	3,845.44
2019年3月期	64,756	35,234	54.4	3,897.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 34,414百万円 2019年3月期 35,232百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,700	△1.1	1,780	26.6	2,080	17.4	1,320	28.7	145.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	9,323,074株	2019年3月期	9,323,074株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	373,572株	2019年3月期	283,723株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	8,994,759株	2019年3月期1Q	9,212,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しており、また、当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び受注残高の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)の連結業績は、物流ソリューション事業における案件の進捗状況により、一時的に固定費を吸収できなかったことや、機械・プラント事業における厳しい事業環境の継続などの影響により、売上高は78億82百万円(前年同四半期比3.7%増)、営業損失は1億1百万円(前年同四半期は営業損失4億17百万円)となりました。経常利益は67百万円(前年同四半期は経常損失1億48百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の売却などにより2億5百万円(前年同四半期比161.1%増)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

## ・物流ソリューション事業

空港向け設備案件や小売、生協向けの「マルチチャトル」を組み込んだ庫内自動化設備案件を中心に売上計上されました。

この結果、当事業の売上高は48億76百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業損失は75百万円(前年同四半期は営業損失1億83百万円)となりました。

## ・機械・プラント事業

低調な受注環境が継続しており、過年度に計上した工事案件に係る引当金の戻し利益が発生するも一過性のもので、全般的に厳しい事業状況に変化はなく、当事業の売上高は12億26百万円(前年同四半期比29.8%減)、営業利益は29百万円(前年同四半期は営業損失4億49百万円)となりました。

## ・その他

主に、子会社それぞれの特性を生かして産業用機械や一般建築、環境調査などへの事業展開に注力した結果、売上高は17億78百万円(前年同四半期比12.2%増)、営業利益は1億32百万円(同59.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は310億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億32百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が105億54百万円減少したことによるものです。固定資産は258億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少しました。

この結果、総資産は569億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億40百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は150億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億15百万円減少しました。これは主に未払費用が39億49百万円、短期借入金が25億0百万円、それぞれ減少したことによるものです。固定負債は74億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が1億50百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は224億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億22百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は344億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億5百万円、剰余金の配当9億3百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は60.5%(前連結会計年度末は54.4%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表しました業績予想数値から変更ありません。

なお、業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,666	9,155
受取手形及び売掛金	23,267	12,712
リース投資資産	1,499	1,350
商品及び製品	38	53
仕掛品	4,252	5,469
原材料及び貯蔵品	1,670	1,678
その他	534	669
貸倒引当金	△22	△16
流動資産合計	38,906	31,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,321	3,419
機械装置及び運搬具(純額)	1,021	996
工具、器具及び備品(純額)	310	304
土地	10,556	10,568
建設仮勘定	622	788
その他(純額)	12	15
有形固定資産合計	15,845	16,092
無形固定資産		
	357	370
投資その他の資産		
投資有価証券	8,671	8,592
繰延税金資産	63	59
退職給付に係る資産	332	150
その他	868	866
貸倒引当金	△289	△289
投資その他の資産合計	9,646	9,379
固定資産合計	25,850	25,841
資産合計	64,756	56,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,570	1,259
短期借入金	7,849	5,349
1年内返済予定の長期借入金	514	480
未払費用	7,534	3,584
未払法人税等	659	117
前受金	2,020	2,908
賞与引当金	227	—
受注損失引当金	121	151
完成工事補償引当金	555	366
その他	870	789
流動負債合計	21,922	15,006
固定負債		
長期借入金	4,627	4,651
繰延税金負債	1,267	1,289
再評価に係る繰延税金負債	1,095	1,095
退職給付に係る負債	358	207
資産除去債務	224	221
その他	27	27
固定負債合計	7,599	7,493
負債合計	29,522	22,499
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,580	18,580
資本剰余金	1,273	1,273
利益剰余金	14,549	13,850
自己株式	△1,077	△1,278
株主資本合計	33,324	32,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,621	2,669
繰延ヘッジ損益	—	△3
土地再評価差額金	106	106
為替換算調整勘定	△759	△727
退職給付に係る調整累計額	△61	△57
その他の包括利益累計額合計	1,907	1,988
非支配株主持分	1	1
純資産合計	35,234	34,416
負債純資産合計	64,756	56,916

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,603	7,882
売上原価	6,681	6,476
売上総利益	921	1,405
販売費及び一般管理費	1,339	1,507
営業損失(△)	△417	△101
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	205	147
為替差益	23	9
その他	56	26
営業外収益合計	288	187
営業外費用		
支払利息	11	14
その他	7	3
営業外費用合計	18	17
経常利益又は経常損失(△)	△148	67
特別利益		
投資有価証券売却益	—	290
負ののれん発生益	87	—
その他	—	0
特別利益合計	87	290
特別損失		
固定資産売却損	1	7
合併関連費用	—	22
その他	0	0
特別損失合計	1	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61	328
法人税、住民税及び事業税	84	96
法人税等調整額	△224	26
法人税等合計	△140	122
四半期純利益	78	205
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	78	205
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108	48
繰延ヘッジ損益	—	△3
為替換算調整勘定	△76	32
退職給付に係る調整額	△4	3
その他の包括利益合計	27	80
四半期包括利益	105	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	286
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## 1. 自己株式の取得及び消却

2019年5月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が200百万円増加しました。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	合計
	物流ソリューション事業	機械・プラ ント事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,272	1,746	6,019	1,584	—	7,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	185	△185	—
計	4,272	1,746	6,019	1,770	△185	7,603
セグメント利益又は損失(△)	△183	△449	△633	325	△110	△417

(注) 「その他」の区分は、建築請負、産業用設備・機器の製造・販売、不動産賃貸、リース業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金額(百万円)
報告セグメント計	△633
「その他」の区分の利益	325
全社費用(注)	△110
その他の調整額	—
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△417

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメント毎の固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結会計期間において、環境リサーチ株式会社を子会社としたことに伴い、負ののれん発生益87百万円を特別利益に計上しております。

なお、当該負ののれん発生益は特定の報告セグメントに係るものではなく、「その他」の区分で認識しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	合計
	物流ソリューション事業	機械・プラ ント事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,876	1,226	6,103	1,778	—	7,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	24	△24	—
計	4,876	1,226	6,103	1,803	△24	7,882
セグメント利益又は損失(△)	△75	29	△46	132	△188	△101

(注) 「その他」の区分は、建築請負、産業用設備・機器の製造・販売、不動産賃貸、リース業、アスベスト等の調査・測定及び分析等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金額(百万円)
報告セグメント計	△46
「その他」の区分の利益	132
全社費用(注)	△188
その他の調整額	—
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△101

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメント毎の固定資産の減損損失又はのれんに関する情報  
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社の吸収合併

当社は、2019年4月1日付で、当社の完全子会社であるトーヨーカネツソリューションズ株式会社を吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

吸収合併存続会社 事業の内容	トーヨーカネツ株式会社 各種貯蔵タンクの製造、販売
吸収合併消滅会社 事業の内容	トーヨーカネツソリューションズ株式会社 物流システム機器の製造、販売及びメンテナンス

(2) 企業結合日

2019年4月1日

(3) 企業結合の法的方式

当社を存続会社、トーヨーカネツソリューションズ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

トーヨーカネツ株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、グループの主要事業である機械・プラント事業及び物流ソリューション事業における知的財産の共有、人的リソースの適正配置及び共有資産の有効活用などを通じて、グループ全体の企業価値の更なる向上を図るため、トーヨーカネツソリューションズ株式会社を吸収合併することとしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 受注及び受注残高の状況

(受注の状況)

事業の種類別セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
物流ソリューション事業	4,382 (61)	52.0 (0.7)	4,000 (26)	49.9 (0.3)	△381 (△34)	△8.7 (△57.1)
機械・プラント事業	3,623 (1,221)	43.0 (14.5)	3,610 (751)	45.0 (9.4)	△12 (△470)	△0.4 (△38.5)
その他	429 (-)	5.1 (-)	409 (-)	5.1 (-)	△19 (-)	△4.7 (-)
合計	8,434 (1,282)	100.0 (15.2)	8,020 (777)	100.0 (9.7)	△413 (△505)	△4.9 (△39.4)

( ) 内は内数であって、海外受注高を示しております。

(受注残高の状況)

事業の種類別セグメント	前連結会計年度末 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2019年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
物流ソリューション事業	21,693 (47)	69.6 (0.2)	20,818 (50)	63.3 (0.2)	△875 (3)	△4.0 (6.5)
機械・プラント事業	9,023 (906)	28.9 (2.9)	11,407 (1,363)	34.7 (4.1)	2,383 (456)	26.4 (50.4)
その他	452 (-)	1.5 (-)	660 (-)	2.0 (-)	207 (-)	45.9 (-)
合計	31,170 (954)	100.0 (3.1)	32,885 (1,414)	100.0 (4.3)	1,715 (459)	5.5 (48.2)

( ) 内は内数であって、海外受注残高を示しております。